

あなたに Click!!

島可南子さん

一クラフトデザインコース2回生—
(専攻メディアア ガラス・メタル)

自分のデザインしたものを カタチにしたい!



きっかけ

高校生の時に演劇部に所属していたことがきっかけで舞台美術に興味を持ちました。でもそれは趣味の範囲だと思い、芸術系ではない大学に進学しました。大学3回生の時、まわりが就職活動を始めるなかで、私はこのままでいいのかなと思い始めました。入学当時

に思い描いていた自分とは違っていただけです。ゼミの教授にも相談して自分は本当は何がしたいのかよく考え、進路変更することに決めました。そして見つけたのが奈良芸でした。ここでモノづくりを一から学び、自分のデザインしたものをカタチにしたいと思い受験しました。考古学も好きなので奈良という土地も気に入りました。

入学して一年

入学してちょうど1年が経ちました。先日「進級制作展」があり、半年間かけて宇宙をテーマにした作品をつくりました。素材はウッドとガラスとメタルです。中にある照明は惑星をイメージしています。色味にこだわって、緑青(サビ)を吹きつけました。毎日、全身木くずまみれになりながらの木を削る作業は大変でした。実はウッドは専攻していないのですが、今回どうしてもやってみたくて、ウッドの先生にかなりフォローしてもらいました。こんな風にやりたいって言ったら、どうしたらうまくいくか一緒に悩んでくれて指導してくれました。奈良芸は本当に先生と

の距離が近い!話しやすく、授業以外でもみんなで雑談できるのが楽しいですね。

モノづくりは楽しくて仕方ないですが、それと同時にカタチにすることって、とても難しいなと最近つくづく実感しています。もっとフォルムにこだわって、細かいところまでていねいにつくりあげていきたいです。

将来は?

舞台美術の仕事ができたらいいなと考えています。舞台美術の他でしたら何かモノづくりに関連する仕事がいいなと思っています。とにかくつくり続けたいです。これからもっとスキルアップしていきたいです!

(茨城県出身)



宇宙をテーマにした作品

News

■橿原市と連携協力する協定を締結

学校法人聖心学園、奈良芸術短期大学は、橿原市とまちづくりや文化、芸術などの分野で連携協力する協定を締結しました。これまでも、本学学生が橿原市のアートイベントに参加、観光フラッグを制作するなど協力を進めてきましたが、今後も文化・芸術・景観・産業振興などの分野で協力することを確認したものです。地域の人たちの声に耳を傾け、アートやデザインで世の中に貢献する。奈良芸学生たちにとってやりがいもあり、大きく成長できる原動力になります。森下豊橿原市長は「これからも深い信頼関係で、学生にも市民にも喜んでもらえる取り組みを進めたい」と期待の言葉をいただきました。



■卒業式

平成25年度卒業式と専攻科修了式が3月15日に行われました。平田学長からは新社会人となる卒業生に向けて「これからは、自らの人生に自分がリーダーシップを発揮し、目標達成に向けて進んでください」と門出を祝福しました。卒業生代表の吉岡千晶さん(洋画コース)は在学生の送辞に答え、「奈良芸術短期大学卒業生の誇りを持って新たなステージに向けて踏み出します」と果敢の決意を述べました。

式典終了後は橿原神宮会館で卒業祝賀パーティが催され、クラスメイトや恩師との別れを惜しまれました。



■入学式

平成26年度入学式が4月8日に行われました。平田学長からは「広い視野を持ち、何事にも興味を持って欲しい。そして自ら積極的に学び、それを深く理解し、自分のものにして下さい。失敗もあるが、そこから多くのことを学ぶことができ、何事も経験だと思い自分の限界を決めずに夢や希望に向かって進んでください。」と新入生にエールを送りました。

続いて入学生代表の大塩まなさん(陶芸コース)が、これから学ぶ芸術の道への意欲を宣誓しました。



神武祭 × NARAGEI 「創造の森」

奈良芸術短期大学のとなりにある橿原神宮の祭典「春の神武祭」が2014年4月1日～4月6日に行われ、期間中はライブや3Dマッピング、フリーマーケット、参道パレードなど様々なイベントが開催されました。奈良芸術短期大学はプロジェクションライティング「創造の森」を企画し参加しました。橿原神宮のそばにある深田池に浮花を浮かせ、池や森に映像を映し出すプロジェクションライティング、そして奈良芸術短期大学の校舎をライトアップ。夜桜が満開に咲き誇っている静寂のなか、見事な映像が浮かび上がりました。

「創造の森」の映像を映像サークルが制作し、そしてデザイン広報サークルと有志の学生たちの約20名がこのプロジェクトを企画から実行までトータルにプロデュースしました。映像作品などは西岡幸二先生(デザインコース)、イラスト作品などはカズ・オオモリ先生(デザインコース)が制作指導にあたりました。会場に来てくれた人は約1800名でたくさんの方が足を運んでくれました。

今回はこの企画に参加したデザインコース2回生近藤さん(イラストレーションクラス)、大塚さん(メディアデザインクラス)、梅田さん(メディアデザインクラス)にインタビューしました。



(右から)近藤さん 大塚さん 梅田さん

きっかけ

このイベントに参加しようと思ったきっかけは？

近藤 この企画を聞いて、おもしろそう！と思ったからです。プロジェクションマッピングは最近よくテレビでも見るけど、どんな仕組みになっているのか、実際に関わってみたいと興味を持ちました。

大塚 わたしは映像サークルに所属しているのですが、部長から「映像を作るよ！」と聞いて参加することになりました。

梅田 わたしはいろんな人と関わりたい！と思ったからです。

準備

2月末から本格的に始め、3月の春休み中は毎日学校に来て準備を進めました。浮花を特殊なシートにデザイン、制作、そしてどうやって浮花を浮かべるか、映像は4部制で作成して、ちゃんと映るかどうかが何度も何度も現場でテストを重ね、試行錯誤の毎日でした。



梅田 苦労したことは、池に浮かべる浮花が思うように浮かなかったことです。おもりもつけていたのに、すべてひっくり返ってしまったのです。しかも繋げていた糸も切れてしまい、計画がすべて倒れてショックでした。時間もなかったし、先生たちとみんなで相談してまたイチからどうするか話し合いました。



大塚 わたしはポスターとのかぼりの製作も担当したのですが、それもハプニングだらけでした。やっと出来上がって印刷にかけようと思ったら、



プリンターが壊れたり、インクがもれていたりで…。

本番をむかえて

全員 楽しかった！！本番中もいろいろと改善しながら進めていったので大変でしたが、とにかくみんなであれこれ言いながらするのがめちゃくちゃ楽しかった！

梅田 わたしはデザインコースの先生たちと仲良くなれたのも嬉しかったな。奈良芸は普段から先生たちとも話しやすい雰囲気だけど、このプロジェクトを一緒にすることで、先生のプロ技を間近で見られてラッキーだった気がする。



近藤 寒いのが辛かった！イベントは夜だったので本当に寒かった～。最終日は大雨だったし。でも毎日が楽しかったな。また明日も行くという気持ちになっ



て、とにかく毎日みんなでひとつのことに向かってやっていくのがおもしろかった。5日間毎日イベントを行ったのですが、毎日反省会をして、毎日パワーアップしていった感じです。

大塚 最初予定していなかったけど途中から呼び込みも始めました。会場が少し奥まったところにあり、思うように人が来なかったので入り口に立ってマイクで呼びかけました。奈良芸のウグイス嬢がいるので(笑)あと奈良芸キャラクターのシカっち☆ステッカーを配りました。会場に少しでも足を運んでもらいたくて！子どもからお年寄りまで、いっぱい話しかけました。お客さんはリピーターもでてきたぐらいです。あとシカっち☆が道に映し出して、歩く映像もあったのですが、効果音もつけたほうが良いとなって、どんどん良くなっていきました。



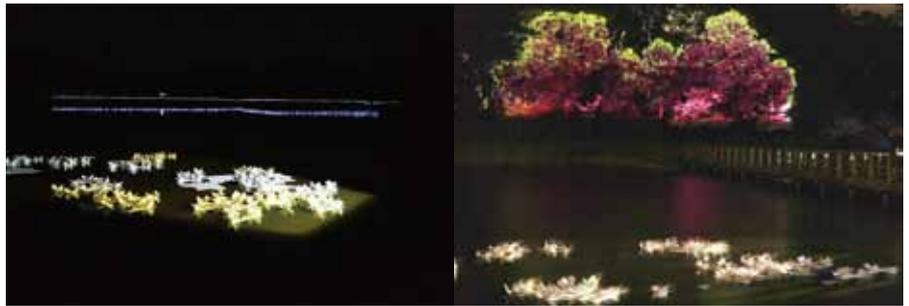
これから

梅田 こんな大きなイベントをやってみて、大変なこといっぱいあったけど本当に参加できてよかったと思います。とてもいい経験になりました。打ち上げで先生が「このメンバーなら何でもできそうな気がする！！」って言うてくれたのは嬉しかった。これからまたどんなことができるのか楽しみです。

大塚 わたしはますます映像サークル、広報サークルの活動を頑張りたい。映像サークルで映画を作っていこうと話しています。

近藤 わたしは学生自治会に入っているので、大学祭で映像サークルと組んで何か大きなことができないか、考えています。

この活動に携わった先生からは「何度も失敗をしたけど、その失敗がどんどん成功に繋がっていったと思います。実は準備から神武祭最終日までずっとヒヤヒヤしていました。でも失敗があったからこそ、みんなで知恵を出し合って改善し、どんどんいい作品をつくりあげていけたと思います。始めから計画通りにうまくいっていたら、つまらなかったと思います。こういう経験があるから来年はこうしたい！もっとこうしたほうがいい！とか、もう今からそんな話をしています。」



Topics

■一般教養「明日香学」現地講座

1月25日、一般教養・明日香学の現地講座を行いました。明日香村には大陸から知識・技術を取り入れて建設された宮殿や寺院、工房の遺構や古墳が点在しています。現地講座では前園教授の解説を聞きながら、巨石の石室で有名な岩屋山古墳、石舞台、壁画で有名な高松塚古墳、天武・持統天皇陵や鬼の雪隠、鬼のまな板、飛鳥浄御原宮と明日香の歴史をたどりながら巡りました。



■飛鳥の魅力

～イマジネーションをはたらかす～

橿原考古学研究所所長、菅谷文則先生が特別講座

2月21日奈良県立橿原考古学研究所所長の菅谷文則先生に、飛鳥の文化・歴史遺産を通じてイメージをいかに高めていくかを語っていただきました。



Prize

第32回日現展

日現大賞 金城清子さん(洋画08卒)
 大阪市立美術館長奨励賞 伊山 実さん(洋画04卒)
 読売テレビ賞 小町康子さん(洋画05卒)

クリエイティブガールズ50Boxes Designs

入選 柴山敬子さん(デザイン14卒)

日本タイポグラフィ年鑑2014

学生部門入選 今西麻綾さん(デザイン14卒)

第11回NHKミニミニ映像大賞

奨励賞 井阪稚葉さん、後藤美咲さん、
 西口萌依さん(全員デザイン14卒)



第11回NHKミニミニ映像大賞
 奨励賞「ありがと弁当」井阪稚葉、後藤美咲、西口萌依

コンケラー・学生デザインコンテスト2013-14

入選 遠藤彩夏さん(デザイン14卒)

第53回魚津市美術展

市展大賞 中村好江さん(洋画07卒)

第20回松伯美術館花鳥画展

入選 菊地将宗さん(日本画98卒)
 青柳佳奈子さん(日本画05卒)

第66回沖展

準会員賞 宮城守男さん(染織00卒)
 入選 永吉剛大さん(クラフト01卒)
 大城清子さん(洋画08卒)

第28回日本ジュエリーアート展

審査員賞 林 茜さん
 (専攻科2回生/クラフトデザイン)

第49回日春展

入選 平尾嘉宏さん(日本画08卒)
 松岡千瑛さん(日本画12卒)

第40回創画展(春季)

春季展賞 中井美智子さん(日本画08卒)
 森中 歩さん(日本画13卒)



中井美智子「萌芽出づⅡ」



森中歩「夜明けの淵」



授賞式(左)森中さん(右)中井さん

入選

芦田裕子さん(日本画95卒)
 菊地将宗さん(日本画98卒)
 吉田真理子さん(日本画03卒)
 青柳佳奈子さん(日本画05卒)
 北村晴子さん(日本画07卒)
 鳥居結人さん(日本画10卒)
 磯田奈津子さん(日本画12卒)
 田中彩乃さん(日本画12卒)
 花本鈴子さん(日本画12卒)
 高垣彩花さん(日本画13卒)
 中沢鮎子さん(日本画14卒)
 永井由美子さん(日本画研究生)
 須藤有希さん(専攻科2回生/日本画)
 向平真奈さん(専攻科2回生/日本画)

第72回公募高田洋画会展

高田美術協会賞 東城和代さん(洋画11卒)
 奈良新聞社賞 渋谷隆之さん(洋画06卒)
 ホルベイン工業賞 小町康子さん(洋画05卒)

建学の精神

日本人の心のふるさと飛鳥で「教育は環境なり」の信念のもと、芸術性豊かな人材を培い、造形的精神や技術を習得することによって品位ある社会人、専門家としての人材を育成する。

教育理念

この建学の精神を生かすべく『人間性回復と創造性開発の扉を拓く』を教育理念とし、飛鳥で生まれた日本人の心が、今を生きるヒントになることを期して教育を展開する。

教育の目的

本学は、清浄な環境において、人間性の錬磨と知性の涵養に努め、一般教養及び美術に関する専門教育を施し、学生自らの人間形成を支援して、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。

教育の目標

目的達成のため重点目標をおく。
 1.正しくものを観る眼を養い、創造性開発のための基礎基本の徹底
 2.飛鳥(古代)文化に根づく感性の育成
 3.技法・技術のみならず人権文化に徹した人づくり
 4.『もの』に働きかけ『もの』と取り組む造形活動の育成

学習成果 (こんな人を育てます)

- 美術の専門的・実践的能力を備えている。
- ヤル気・ホン気・コン気の態度を身につけている。